



上智大学創立 100 周年  
 上智短期大学創立 40 周年  
 上智社会福祉専門学校 50 周年



## 上智社会福祉専門学校のカリキュラムの特徴

No. 10

### 1 キリスト教精神に基づく教育

上智社会福祉専門学校（以下社専）の前身である上智大学社会福祉専修科は、1964年4月に開設された。当時の「学生要覧」はガリ版刷りの冊子で、その最初のページには「本科の特徴」が次のように記されている。「本科は上智大学の教育綱領に基づき、社会福祉事業に専門的に従事する有能な人格者を養成することを使命とする。従って単なるソーシャルワーカーの養成を志すものではなく、健全な人生観、世界観をもって日本社会福祉におけるキリスト教的使徒的使命感を達成するソーシャルワーカーを教育するのである。」



1960年代の授業風景(写真上、左下)



社会福祉専修科は「上智社会福祉専修学校」へと整備され、1966年に大学から独立した教育機関となった。その際に前述「本科の特徴」は、内容にいくつかの修正（「上智大学の教育綱領に基づき」が削除されるなど）が行われ、専修学校の学則に掲げられることとなった。

この「特徴」を謳う文章に象徴されるように、社専は創立時から「キリスト教精神に基づく社会福祉専門家の養成」に力を注いできたのである。

### 2 多彩な教育内容と講師陣

社会福祉専修科としての開設当初より、上智大学の専任教員が社専の多くの授業科目を担当したし、外部からも当時の社会福祉実践・教育研究の第一人者が講師として招聘された。また、開始時期は明確ではないが1970年代には、各種学校(当時)でありながら、大学の卒業論文にあたる「卒業レポート」がカリキュラムに取り入れられていた。これも質の高い教育を提供し、質の高い社会福



一九七〇年の卒業アルバムに掲載された講師陣(約半数分)

社の専門家を養成するための工夫であった。

キリスト教に関連する教育としては、開設時より「倫理学」「哲学」「宗教学」が必修の教養科目であった。さらに、「神学科目（後に「宗教教養科目」に名称変更）」として「聖書入門」「教理神学」「教会史」などがあり、当時多かったカトリック学生への教育というねらいのもと、1971年度まで「原則としてカトリック信者は必修」とされていた。キリスト教関係の科目はその後、科目数や内容が何度か変更されたが、1990年度から「人間学」と「キリスト教学」の科目のもとに統合され、現在に至っている。

### 3 学生にもとめられる厳しい授業態度

社専は、昼間働いている人のための夜間の教育課程として誕生し、現在も保育士科、社会福祉士・児童指導員科の授業は、午後5時50分に開始される。介護福祉士科は、2008年度入学生から授業開始が午後1時30分に変更されたが、これも空き時間を仕事や家庭・地域活動などに充てられるように考えて設定された時間割である。

仕事や家事と学業を両立させ、2年または3年間の学習を継続するためには、家族や職場の理解を得ることを始め、大変な努力が求められ、そのような個人の事情があるにせよ、授業への出席は厳しくチェックされる。出欠確認のため授業毎に配布される「出席カード」に、様々な思い出が頭に浮かぶ卒業生は少なくないであろう。

学生の学ぶ姿勢に関しては、創設者ペトロ・ハイドリッヒ神父の強い意志が反映されていた。神父は、「欠席が多いのは学生の本分を忘れているのだから、試験の受験資格はない」として妥協を許さなかった。当時を知る卒業生や講師経験者の間には、「(ハイドリッヒ神父が)始業チャイムの鳴る前から廊下に立って、遅刻者を見張っていた」「遅刻の言い訳をしたら、『ここで学ぶのは)あなたが決めたことですね!』と撥ねつけられた」など、多くのエピソードが伝えられている。

### 4 時代の要請に対応したカリキュラム

1987年の「社会福祉士及び介護福祉士法」制定、2000年の「介護保険法」施行などを経て、社会福祉に関わる資格や法制度が整えられた現在、社専の主な役割は、国家資格を持つ社会福祉従事者の養成教育となり、授業カリキュラムも厚生労働省の指定規則に沿って編まれている。



上智大学PCルームでの授業



現在(2010年)の授業風景

しかしその中で、上智大学と社専の関係の特徴を生かし、学生の多様なニーズに対応するための様々な工夫が凝らされている。例えば、2010年度から「上智大学科目等履修生制度」を活用して総合人間科学部社会福祉学科の単位を取得できる仕組みが開始された。また、保育士科での「認定ベビーシッター」「ピアヘルパー」などの、民間資格の取得できるカリキュラム、介護福祉士科のNPOや民間団体とのタイアップによる介護実践力向上プログラムなどもある。

一方で「人間学」「キリスト教学」や「卒業レポート」などは、現在も必修科目として位置づけられている。